

平成27年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業状況報告書(各年度報告書)

(事業計画書作成担当者)

都道府県等の名称	北海道		
所在地	北海道札幌市中央区北3条西6丁目		
事業計画作成担当者	氏名	所属部局・役職名等	
		環境生活部 環境局 低炭素社会推進室 計画推進グループ	
	TEL	FAX	メールアドレス
	011-204-5190	011-232-1301	

(基金事業の執行計画)

(単位:千円)

再生可能エネルギー等導入推進事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計	執行率
地域資源活用詳細調査事業	400	574	259	42			
公共施設再生可能エネルギー等導入事業	34,762	241,497	28,212	137,046			
民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業	0	0	0	0			
風力・地熱発電事業等導入支援事業	0	0	0	0			
合計	35,162	242,071	28,471	137,088			

※事業実施状況報告書を提出する年度以外の年度は、執行済額又は執行見込額を記載する。

※執行率は、基金総額に対する執行済額の割合を記載する。

平成27年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業状況報告書(各年度報告書)

(事業計画の概要)

計画の名称	北海道グリーンニューデール基金(再生可能エネルギー等導入推進事業)		
事業の実施期間	平成27年度	交付対象	北海道、市町村
平成27年度事業実施の概要			

【事業の目的、執行方針】

防災対策の推進による道民の安全の確保及び循環と共生を基調とする環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の実現を図るため、地域の再生可能エネルギーを活用した災害に強い自立・分散型エネルギーの導入を支援することにより、エネルギーの地産地消を通じた地域づくりに資することを目的とし、次の観点から事業を実施します。

① 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入

本道は全国トップクラスの賦存量を誇る太陽光や風力などの多様な再生可能エネルギーを有しており、こうした道内各地域に賦存する様々な地域資源の活用を目指す。道内企業が研究・開発した再生可能エネルギー導入技術や、効率の良い先導性のある技術を導入することで、他地域の先進事例となることが期待される事業に配慮する。

② 地域づくりの推進

地球温暖化対策地方公共団体実行計画や市町村総合計画、防災計画等で、導入する再生可能エネルギーの種別や導入する施設、導入施設におけるCO2削減効果などが明確となっており、公共施設への積極的な導入や、環境教育による人づくりや産業振興など、地域づくりへの波及効果が期待できる事業に配慮する。

③ 防災対策推進地域等への配慮

東日本大震災を踏まえた防災対策の推進の必要性に鑑み、東日本大震災財法に基づく特定被災地方公共団体や、近い将来地震発生の可能性が高い日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域、孤立化の可能性が高い地域などに導入する事業等については、早期の事業執行が図られるよう配慮するとともに、本道のような積雪・極寒地においては、安全・安心な避難生活を確保するためには、電源の確保だけではなく、熱エネルギーの確保も不可欠であることから、地中熱や温泉熱、太陽熱などを導入する事業についても配慮する。

【事業の選定方法、監理体制】

本基金事業では、事業計画の立案段階から実施後の評価までの一連の事業プロセスにおいて効率性や透明性などを検証できる仕組みを構築するため、「北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会」を開催し、実施事業の審査、評価、助言等を受けました。
今年度は、平成28年度事業の選定に向けた事業評価等を行いました。

【北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会の構成】

北 裕幸	北海道大学大学院情報科学研究科教授 (再生可能エネルギー)
高井 伸雄	北海道大学大学院工学研究院准教授 (防災)
平岡 俊一	北海道教育大学教育学部釧路校准教授 (地域づくり) ※五十音順

【評価委員会の開催】

- ・平成27年11月
- ・主な内容：平成28年度に実施する事業計画の評価等

【実施事業の概要】

① 地域資源活用詳細調査事業

本事業メニューでは、各年度事業の評価のため評価委員会を開催するなど、基金事業の実施に必要な事務を執り進めました。

② 公共施設再生可能エネルギー等導入事業

本事業メニューでは、継続事業である厚真町など3事業を実施しました。

<事業区分>

行政機能の維持	—
医療機能の維持	—
避難所等の確保	3施設
都市機能の維持	—

<実施事業>

実施主体	エネルギー種別	事業期間	事業の概要
北海道	太陽光、太陽熱	25, 27	苫小牧市は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量の多い地域であることから、地域の避難施設に指定されている苫小牧東高校へ太陽光発電を導入する。27年度は25年度に行った実施設計に基づき本工事を実施した。
厚真町	太陽光、太陽熱	26～27	厚真町は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量の多い地域。地域の避難施設に指定されている厚真中学校へ太陽光発電等を導入する。27年度は前年度に行った実施設計に基づき本工事を実施した。
石狩市	木質バイオマス（熱利用）	26～27	石狩市では、市総合計画や環境基本計画等において、バイオマス資源の有効活用を推進することとしており、地域の避難施設となる花川南コミュニティセンターにバイオマスボイラを導入する。27年度は前年度に行った実施設計に基づき本工事を実施した。

平成27年度成果目標及び達成状況

平成27年度末における各成果指標の達成状況は次のとおりとなっています。

- ① 本事業で導入した再生可能エネルギーによる発電量
→ 160,783kWh/年〔平成27年度目標値:160,778kWh/年〕
- ② 本事業で導入した再生可能エネルギーによるCO2削減量
→ 517.1t-CO2/年〔平成27年度目標値:514.0t-CO2/年〕
- ③ 防災拠点等となり得る公共施設への再生可能エネルギーの普及(導入施設数)
→ 3施設〔平成27年度目標値:3施設〕

項目	H24	H25	H26	H27	H28
本事業で導入した再生可能エネルギーによる発電量	kWh 10,736	kWh 106,100	kWh 12,312	kWh 31,635	kWh (25,788)
(累計)	10,736	116,836	129,148	160,783	(186,571)
本事業で導入した再生可能エネルギーによるCO2削減量	t-CO2 3.8	t-CO2 323.1	t-CO2 8.4	t-CO2 181.8	t-CO2 (147.4)
(累計)	3.8	326.9	335.3	517.1	(664.5)
防災拠点となり得る公共施設の再生可能エネルギー普及率	2.0%	2.1%	2.2%	2.3%	(2.3%)
本基金による導入施設数	1カ所	5カ所	1カ所	3カ所	(3カ所)
(累計)	1カ所	6カ所	7カ所	10カ所	(13カ所)
目標に対する導入割合	5.6%	27.8%	5.6%	16.7%	(16.7%)
(累計)	5.6%	33.3%	38.9%	55.6%	(72.2%)

平成27年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業状況報告書(各年度報告書)

事業番号	事業名	総事業費 (千円)	基金充当額(千円)					実施主体	施設区分	事業内容	事業効果		特定 被災 地方 公共 団体	
			合計	H24	H25	H26	H27				H28	発電量 (kWh/年)		CO2削減量 (t-CO2/年)
01000-24-1-001	再生可能エネルギー等導入推進基金計画策定等事業	1,275	1,275	400	574	259	42		北海道	—	評価委員会の開催など			
01000-24-2-001	広尾町再生可能エネルギー等導入事業(庁舎)	24,675	24,675		24,675				広尾町	庁舎	太陽光18kW、蓄電池4.8kWh	20,075	13.8	○
01000-24-2-002	浜中町再生可能エネルギー等導入事業(ふれあい交流保養センター)	30,037	30,037	30,037					浜中町	集会場	太陽光10kW、蓄電池16kWh	10,736	3.8	○
01000-24-2-003	利尻町再生可能エネルギー等導入事業(総合体育館)	60,375	60,375	4,725	55,650				利尻町	体育館	太陽光15kW、風力4kW、蓄電池110kWh	17,125	11.8	
01000-25-2-001	厚沢部町再生可能エネルギー等導入事業(うずら温泉)	62,723	62,723		62,723				厚沢部町	宿泊施設	木質バイオマスボイラー180kW		205.7	
01000-25-2-002	南富良野町再生可能エネルギー等導入事業(南富良野小学校)	52,147	52,147		52,147				南富良野町	学校	木質バイオマスボイラー232kW		44.4	
01000-25-2-003	美幌町再生可能エネルギー等導入事業(日並浄水場)	43,000	43,000		43,000				美幌町	上水道	小水力16kW	68,900	47.4	
01000-25-2-004	富良野市再生可能エネルギー等導入事業(麗郷小中学校)	26,000	26,000		2,000	24,000			富良野市	学校	小水力1.9kW、蓄電池20kWh	12,312	8.4	
01000-25-2-005	北海道再生可能エネルギー等導入事業(苫小牧東高校)	42,320	42,320		1,302		41,018		北海道	学校	太陽光15kW、蓄電池15kWh	15,000	8.3	
01000-26-2-001	厚真町再生可能エネルギー等導入事業(厚真中学校)	41,058	41,058			1,728	39,330		厚真町	学校	太陽光10kW、蓄電池30kWh、太陽熱利用設備17.19㎡	16,635	13.5	
01000-26-2-002	石狩市再生可能エネルギー等導入事業(花川南コミュニティセンター)	59,182	59,182			2,484	56,698		石狩市	集会場	木質バイオマスボイラー260kW		160.0	
01000-28-2-001	苫前町再生可能エネルギー等導入事業(苫前小学校)								苫前町	学校	木質バイオマスボイラー225kW		66.8	
01000-28-2-002	釧路北部消防組合再生可能エネルギー等導入事業(弟子屈消防署)								釧路北部消防事務組合	消防署	地中熱ヒートポンプ201kW		47.2	
01000-28-2-003	室蘭市再生可能エネルギー等導入事業(入江運動公園温水プール)								室蘭市	体育館	燃料電池(エネファーム)4.2kW	25,788	33.4	
合計		442,792	442,792	35,162	242,071	28,471	137,088					186,571	664.5	

※各年度の開始前に提出している各年度計画書(当該年度に計画変更をしている場合には変更後計画書)で記載した事業は全て実施状況を記載すること

※事業の実施上、事業の遅延等により繰越をする場合にも記載をすること